

平成30年 2月19日

足立区立宮城小学校
学校長 藤井 基人 様

足立区立宮城小学校 開かれた学校づくり協議会

平成29年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

- 宮城小学校就任2年目となり、本校の課題を把握し、重点的に取り組もうとする姿が見られた。特に、児童理解ならびに生活指導で大きな成果を上げるとともに、保護者ならびに地域からの信頼を集めることができた。加えて、昨年度の課題であった児童の基礎学力の定着、家庭学習の充実などの学力向上に対する取り組みや、児童の体力向上については、この一年間で大きな成果が見られた。
- 地域・保護者・学校の愛情に支えられ、児童は高学年になるほどしっかりし、まっすぐに努力している姿は下学年の手本になっている。学校は成果と課題を的確に把握し、課題解決に取り組もうとしていることが伝わってくる。特に、児童の規範意識の向上はすばらしく、高学年が全校の手本となる行動ができるのは、宮城小の誇りといえる。
- 校内での子どもたちの挨拶が評価されている。この挨拶だけでなく、子どもたちの生活リズム改善が図れるよう、学校と家庭が連携し、より大きな変化がみられることができるように、地域から学校・家庭へバックアップを続けてゆきたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 「学力向上」、「豊かな心、健やかな体の育成」、「地域や保護者との連携」の三つの重点的な取り組み事項を定め、教員が一丸となって課題の克服に努めている。取り組んだ成果は着実に結果に反映されており、評価したい。校内に留まらない複合的な課題については、開かれた学校づくり協議会、学校、PTA、家庭、地域等と連携しながら克服に努めていきたい。

3. その他

- 学校行事や地域行事を中心として、学校と地域との結びつきが今年度も見られた。これからも互いに情報発信を行うような双方向の交流を続けていきたい。